

2 0 2 2 年度

事業報告書

自 2 0 2 2 年 4 月 1 日

至 2 0 2 3 年 3 月 3 1 日

2022 年度 事業報告書

1. 事業環境

2022 年度は、約 3 年に渡って続く新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動に大きな影響があり、我々の生活環境にも大きな変化を与えられました。

3 年も続いた状況から、感染症はようやく収束しつつあり、コロナ前の日常を徐々に取り戻しています。しかしながらロシアとウクライナの問題が継続する中、物価の上昇や金融問題など、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

2. 事業概要

このような事業環境の中、2022 年度のメンテナンス業界は、原材料の価格高騰や資材不足、人件費の上昇などがありましたが、石油・化学プラントの定修工事に加え、設備の老朽化に伴う更新投資や、脱炭素に向けた環境対応投資などの案件があり、各会員会社の抱える工事量としては堅調に推移しております。

工業会としては、コロナ禍における理事会や各種委員会活動は、Web 会議を併用し通常回数で行いました。但し、講演会や工場見学は開催できませんでしたが、賀詞交歓会は多くの会員に参加いただき開催することができました。

フランチ締結技能講習制度については活発な活動を行い、認定講師および講習受講者数は大幅に伸び、様々な広報活動や設備オーナーへの認知度アップにより、会員数の増加にも寄与しています。

3. 会員数の現況

2022 年度の会員数の推移は次表のとおりです。

種別	項目 2022 年 4 月 1 日現在	2022 年度 会員数の推移			2023 年 3 月 31 日現在
		増 加	減 少	増減差引	
正 会 員	97	13	-1	12	109
賛助会員	28	0	-1	-1	27

入会：①巴ライジング ②トーヨーカネツ ③朝日工業 ④太平電業 ⑤大石工作所
⑥協和機工 ⑦ツルヤマテクノス ⑧日本通運 ⑨オーバル
⑩オーバルアシスタンス ⑪共立建設 ⑫ヤマモト工業 ⑬尚栄工業

退会：①千代田システムテクノロジーズ ②日本精工

4. 主要行事について

4-1. 通常総会、講演会、表彰式

日時：2022 年 6 月 2 日 13 時 00 分～15 時 40 分

会場：如水会館 スターホール 東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 1 号

(1) 通常総会

出席：正会員 100 名中 84 名出席（出席 28 名、委任状 56 名）

議事：第 1 号議案 2021 年度事業報告書・収支決算書について

第 2 号議案 2022 年度事業計画書・収支予算書について

（議案は原案どおり可決）

(2) 報告

参加：正会員 28 名、総務委員 12 名、表彰関係 13 名、ほか合計 58 名
Web 参加 18 名

題目：フランチ締結技能講習制度について

講演：レイズネクスト株式会社 近藤 康治 氏

(3) 表彰式

参加：報告出席者 58 名が引き続き参加

第 6 回日本メンテナンス工業会表彰

受賞：マイスター賞 2 件、技術賞 2 件、奨励・普及賞 3 件

4-2. 第 7 回日本メンテナンス工業会表彰

申請件数：マイスター賞 4 件、技術賞 2 件、奨励・普及賞 4 件

受賞：メンテナンスマイスター賞 3 件

J F E プラントエンジニア(株) 梶崎 龍吾 殿

(株)高田工業所 森川 順三 殿

山九(株) 黒川 朗 殿

メンテナンス技術賞 0 件

メンテナンス奨励・普及賞 4 件

J F E プラントエンジニア(株) 廣本 悟司 殿

非破壊検査(株) 田中 隆介 殿

アズビル(株) 吉田 靖弘 殿

横河ソリューションサービス(株) 進藤 良史 殿

4-3. 工場見学会

2022 年秋開催の予定→中止

4-4. 賀詞交歓会

日時：2023 年 1 月 19 日 11 時 30 分～12 時 50 分

会場：如水会館 スターホール 東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 1 号

参加：67 社 168 名 (135 社中)

来賓：経済産業省 製造産業局 産業機械課

課長 安田 篤 様 (ご挨拶)

係長 板垣 宏知 様

アクトアドバイザーズ税理士法人

代表社員(顧問税理士) 杵淵 祥志 様

5. 理事会の概要

5-1. 年初計画

第 1 回 2022 年 5 月 19 日(木)

第 2 回 2022 年 9 月 8 日(木)

第 3 回 2022 年 12 月 1 日(木)

第 4 回 2023 年 3 月 2 日(木)

5-2. 実績

- 第1回 2022年5月19日 如水会館とWeb併用 → 可決
議事：第1号議案 役員の一部交代案について
第2号議案 正会員入会について
第3号議案 2021年度事業報告書案及び収支決算書案について
2022年度事業計画書案及び収支予算書案について
第4号議案 2022年度 通常総会について
- 第2回 2022年9月8日 如水会館とWeb併用 → 可決
議事：第1号議案 役員の一部交代案について
第2号議案 正会員入会について
第3号議案 プラントメンテナンスショー-OSAKA 出展について
- 第3回 2022年12月1日 如水会館とWeb併用 → 可決
議事：第1号議案 新年賀詞交歓会について
- 第4回 2023年3月2日 如水会館とWeb併用 → 可決
議事：第1号議案 正会員入会について
第2号議案 第七回工業会表彰について

6. 委員会活動の概要

6-1. 総務委員会

委員会は、昨年度同様 Web と会場の併用で5回開催し、理事会の事前審議を行いました。主な事前審議及び活動は以下の通りです。

1. 通常総会、賀詞交歓会の会場開催
2. 工業会表彰
3. 新規加入会社：13社
4. メンテナンスショー（東京・大阪）出展ブース運営協力
5. 定修会議の参画（1回開催）
6. えひめ東予産業創造センター様 （上級技術者講座）講義

6-2. 企画推進委員会

今年度は、昨年度同様 Web と会場併用会議を行い、次の内容につきまして活動しました。

1. フランジ締結技能講習推進活動
 - (1) 認定講師審査会：16回 認定講師：110名認定（累計：149名）
 - (2) 技能講習：受講者：3,638名（累計：4,266名）
 - (3) 認定講師連絡会開催：6回
 - (4) スキルアップ研修：1回
 - (5) メンテナンスショー（東京・大阪）実演コーナー運営
 - (6) 設備オーナー様へのPR活動（9回）
 - (7) 本制度賛同入会会社：8社（累計：11社）
2. 人材不足対応として、西工大、新居浜高専に対しメンテナンス講座の講師を務めました。また西工大の企業説明会に会員8社が参加しリクルート活動を行いました。
3. スマート保安官民協議会部会の参画（高圧ガス部会、電力安全部会）
4. 厚生労働省「工作物に係る事前調査者の要件の検討」打合せ（2回）

6－3．調査統計委員会

2021 年度に実施出来なかった 1 年調査をはじめ 3 年調査を実施しました。今回、1 年調査に併せて新型コロナウイルス感染拡大の影響について調査及び 3 年調査では新入社員の離職率について新たにアンケート調査を実施しました。以下の通りです。

- 1.工業会会員企業概要 1 年調査実施しました。
併せて以下の項目についてアンケート調査を実施しました。
分析結果を会報第 109 号に掲載しました。
 - ・(新) 新型コロナウイルス感染症の影響について
 - ・長時間労働について
- 2.工業会会員企業概要 3 年調査を実施しました。
併せて以下の項目についてアンケート調査実施を実施しました。
 - ・(新) 新入社員の離職率について

6－4．広報活動委員会

2022 年度は委員会を 5 回開催と展示会（東京）のサポートを実施。

- 1.会報内容の充実
 - ・第 108 号（2022 年 7 月）と第 109 号（2023 年 2 月）を発行、6 月の総会 1 月の賀詞交歓会ともに開催ができ会報に掲載。
 - ・フランチ締結技能講習制度を連載
2. ホームページのリニューアル
2022 年度にホームページの全面リニューアルを計画していたが内容の充実を検討した為、2023 年度前半に公開がずれ込んだ。
- 3.プラントメンテナンスショーに出展する会員企業の取材など。
2022 年度プラントメンテナンスショーは、東京（7 月）と大阪（12 月）の 2 回開催され当会は、東京、大阪ともに出展した。大阪開催には初めて出展し、西日本地区へフランチ締結技能講習について PR を行った。

6－5．教育研修委員会

コロナの影響により、通常総会での講演会や従来行っていた工場見学も中止としました。

- 1.オンラインセミナーなどの新しい企画の立案まで至りませんでした。
- 2.学校関連の講座開設に伴うフォロー、対応を行いました。
 - ・西日本工業大学の講座開設に伴う講義担当各社への教育資料作成支援およびフォロー
講義会社：高田工業所、中部プラントサービス、三興コントロール
日本工業検査
 - ・新居浜高専特別課程への工業会関与と講座担当各社への支援およびフォロー
講義会社：高田工業所、横河ソリューションサービス、アズビル

6－6．法令・規格委員会

プラントメンテナンス業の課題に関連する各省庁の調査として、スマート保安に着目して協議会・部会等の活動を調査し理解を深めるとともに、ドローン・防爆・AI・IoT の規制およびセキュリティ、AI・保安データ利用に関する契約について 継続調査を行いました。また、会員会社を対象に、定修時における長時間労働に関するアンケートを実施し、各社の抱えている課題や業界全体の課題などが明らかになり、その内容を会報 109 号に掲載しました。これら諸課題の対策を中心に、次年度は活動したいと考えております。

6－7．評価提案委員会

人材の確保・育成へ向けた検討を次の２点について行いました。

1.工業会表彰制度の制度定着化

- ①コロナ禍の中、例年通り実施し制度定着に努めました。
- ②申請内容に不備があった場合、内容の確認・修正指導等を考慮した全体工程とし、申請元への追加資料などの申請内容指導の期間を設け評価を実施しました。

2.人材確保のためのPR方法

- ①「プラントメンテナンス業界ガイドブック」について、さらに充実したものにするため、会員企業へのアンケート調査と会員企業の職種分析を実施しました。
- ②アンケート調査は、「メンテナンス業界ガイドブックの構成や職種紹介内容は、業界の認知度向上に役立っているか？」について、正会員93社に送付し、有効回答38社で回答率は41%でした。集計結果は、全ての項目でほぼ90%以上の肯定的（そう思う・ややそう思う・どちらかといえばそう思う）な評価結果となりました。
- ③拡充したい職種についてのアンケート結果および会員企業の職種分析結果より、新たに業界（プラントとは、メンテナンスとは）および6職種（メンテナンス監督、製缶、足場薦、機械加工、計装保全、非破壊検査）の紹介シートについて拡充することにしました。

6－8．技術研究委員会

メンテナンス技術の情報収集については委員会開催がWeb会議中心となり紹介された技術は3件に留まりました。各会員会社における技術研究委員会の認知度及び期待している内容を確認するためにアンケートを実施しました。アンケート結果として「施工技術、施工機械」、「現場管理」、「工具・道具」、「DX（IT/VR）」などについての情報に興味があると分析し2023年度の活動に反映することにしました。石綿障害予防規則改正に伴う委員各社の対応について情報収集した結果、諸官庁の方針も統一されていない面があるが各社は対応を行っており、現在は特段問題にはなっていない状況が確認されました。

以上